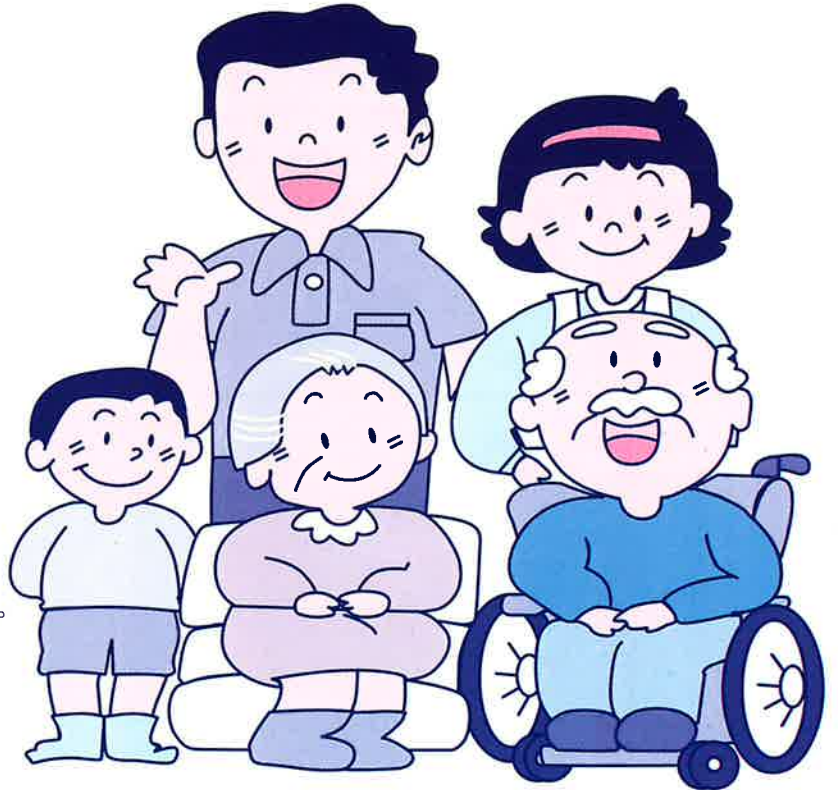


令和5年度 西帯広地区

人にやさしいまちづくり

それは私たち一人ひとりの「思いやり」から始まります。

ノーマライゼーション推進事業



信号機に音で知らせる機器を付けたり、車椅子でも入りやすいスロープを作ることは大切な環境整備です。でも、そのような設備だけでは思いやりは生まれません。さまざまな人が住む地域社会で助け合い、励まし合い、支え合えるまちづくりのためにはそこに住むすべての人々がお互いを認めあっていく、心のふれあいがとても大切なのです。

同じ地域に住む人たちが、お互いに思いやり、支え合い、助け合える社会。

障害者もお年寄りも、子ども、みんなが安心して暮らせる社会。そんな地域づくりをすすめるのが、ノーマライゼーション推進事業です。

十 勝 毎 日 新 聞

十 勝 毎 日 新 聞



ゴシツ
○：帯広つて復活。町内会や個人つじが丘小学を含め15団体の協賛もあり、子どもたち約70人が学年別に2部制となり、輪投げや魚釣り射的など6種類の遊びを満喫した。スパーボールをすくい、「おかしすくい」に夢中になり、もらったお菓子を忘れる子も続出。
○：初めて参加した同小2年の泉いどさんは「射的が楽しかった」と風船やたくさんのお菓子を手に満面の笑顔で話した。魚釣りなどでは、大当たりを出したと盛り上がる場面もあり、久々の夏祭りに子どもたちが大満足の一日を過ごした。
(馬淵智子通信員)



たうん

◆西帯広地区「人にやさしいまちづくり」推進協議会「通称NR協」松崎拓郎(会長)のミニ講演会
22日、帯広市内の共愛会館で開かれたII写真。講師に帯広つじが丘郵便局長の岸本孝行さんを迎え、地域における郵便局の役割などを学んだ。同局が絵本の貸し出しや野菜の販売などを通して、地域に根差した活動を展開していることや、特殊詐欺を防いだ話などが紹介され、地域住民ら約30人は熱心に耳傾けていた。
また、帯広署西帯広交番の水野真理巡査が交通事故防止を呼び掛け、夜光反射材の使用法や効果を説明した。



二中全校清掃実施 R4年7月19日(火)



ポテトハウス運動会 R4年7月23日(土)



障害者週間 とかちプラザ展示 R4年11月18日(水)



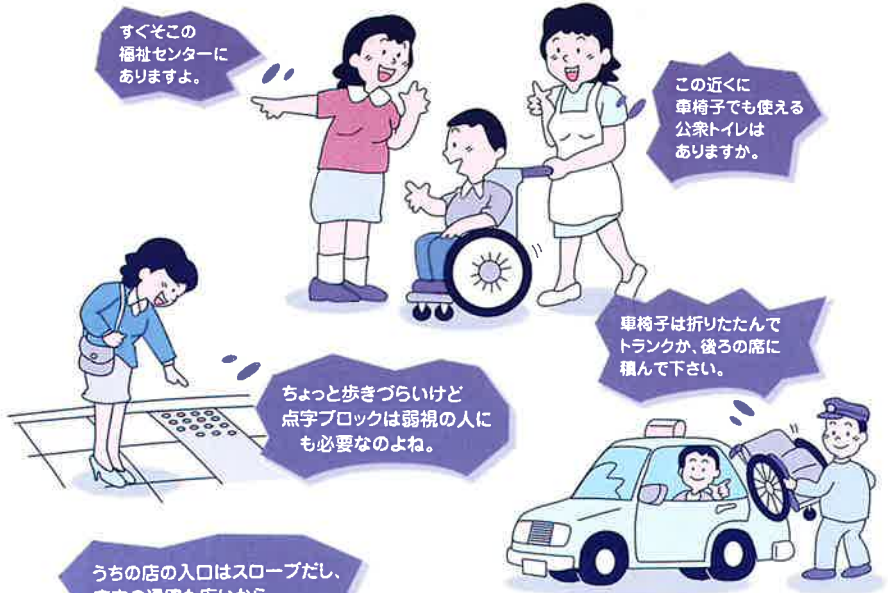
障害者週間 パネル展示 図書館にて R5年11月19日(土)



障害者週間 掲示イターヨーカドー撤去作業 R4年12月9日(金)



NR役員会 R5年3月4日(土)



すぐこの
福祉センターに
ありますよ。

この近くに
車椅子でも使える
公衆トイレは
ありますよ。



ちょっと歩きづらいけど
点字ブロックは弱視の人にも
必要なよね。



車椅子は折りたたんで
トランクか、後ろの席に
積んで下さい。

うちの店の入口はスロープだし、
店内の通路も広いから
車椅子でも大丈夫ですよ。



子育てで悩んでも
経験豊富な方がそばに
いると安心できるわ。



ひとり暮らしの
お年寄りや障害者への
声かけや冬の除雪の
手伝いは大切なことだよ

通学路だから
ゆっくり
はしらなくちゃ



みんなで
協力してやれば
はやく、きれいに
片付くよ。



バスの中でお年寄りに席を譲ったら
なんだか心がポカポカした
大きな荷物を抱えた人に手を貸してあげたら
なんだか心がウキウキした

上の棚の高くに
手が届かないのね。
取ってあげるから
何が欲しいか
教えてちょうだい。



おぼさん、
どうも
ありがとう。

知らない街で道を聞いたら
やさしく案内されたから
なんだか心がワクワクした
心がほんわり暖くなるのはどんな時?
人のやさしさにふれた時
人にやさしくできた時

荷物太重そうですね。
同じ方に行きます
から、半分お持ちし
ましょう。



○番の市役所行きバスは
あと5分ほどで
来るみたいですよ。



2022年度 帯広第二中学校

ノーマライゼーション標語

あいさつで 人との関わり 増やそうよ
 (紺野 望人さん)

他人事 そんな垣根を 越えてゆけ
 (榊原 伊織さん)

認め合おう 人とのちがい 大切に
 (中村 天さん)

その勇気が 誰かの命を 救えるかも
 (樽井 祐太さん)

思いやり それさえあれば 繋がれる
 (児島菜々花さん)

その笑顔 心の壁を とりのぞく
 (鈴木 奏乃さん)

支えあい 小さなことで ありがとう
 (浦島 楓果さん)

ポイ捨ては 環境、心 よこれるよ
 (田島 未徠さん)

ちがうこと それは全部 個性だよ
 (鎌田 真帆さん)

あいさつで 笑顔が生まれる この町で
 (岡本 将功さん)

一言の 勇気があれば 助けられる
 (角田 流惟さん)

町きれい みんなの心も ぴっかぴか
 (後藤 冬磨さん)

不便ない そうするためには 助け合い
 (高橋 咲人さん)

助け合う 人の想いに 壁はない
 (中西 裕翔さん)

リサイクル 地球の資源 無駄にせず
 (西山 英汰さん)

つくろうよ みんなが笑顔に なる場所
 (鎌田 若菜さん)

スマホ見る 軽い気持ちは 重い罪
 (川上 那奈さん)

どうしよう そう思うなら 助けよう
 (高橋 実蘭さん)

十 豚 毎 日 新 聞



第二中学校入学式 2023年(令和5年)4月10日(月曜日)

十 豚 毎 日 新 聞



第二中学校卒業式 2023年(令和5年)3月15日(水曜日)



令和5年3月9日 二中校長室にて



私達が皆さんとともに 西帯広地区「人にやさしいまちづくり」を推進しています。

会 長	松崎 拓郎	共愛町内会会長	理 事	坪井 一身	愛灯学園施設長
副会長	高橋 洋一	千島連盟十勝支部長		阿部 克憲	つつじヶ丘学園施設長
	中尾 悦子	西帯ゆうゆうサロン代表		真田 清	ぼてとハウス施設長
	村田 光成	北海道議会議員		佐々木伸枝	ふれあいつつじサロン代表
	大澤奈緒美	わいわいクラブ理事長		出原 和裕	帯広つつじヶ丘小学校PTA会長
	野原 一行	西小地区生涯学習推進委員会委員長		牧野 雄大	帯広第二中学校PTA会長
事務局長	伊藤 公康	かちまい西帯広代表		中山 史也	帯広西小学校PTA会長
事務局次長	菊地 富男	共愛町内会東区区长		吉田 隆佳	帯広養護学校PTA会長
	遠藤 良夫	共愛町内会西区区长		川畑 和幸	帯広盲学校PTA会長
監 査	大宮 哲夫	西11号つくし町内会長		道田 好昭	帯広聾学校PTA会長
	佐々木 潔	タウン24町内会長		細川 吉博	医療法人社団博愛会理事長
常任理事	業天 誉久	帯広養護学校校長		内藤 憲孝	イフ社長
	千頭 洋	帯広つつじヶ丘小学校校長		佐藤 友一	株式会社カイハツ社長
	赤間百合子	つつじっ子クラブみまもり隊顧問		林 香 織	社会福祉法人慧誠会帯広あおぞら所長
	及川 香呂	前帯広第二中学校PTA会長		田代 宣子	開西児童保育センター長
	松久 温樹	民生児童委員		東 哲慎	地域包括支援センター愛仁園センター長
理 事	松岡 勝徳	西帯広連町福祉部長		山田 寿	「にれの木」施設長
	松田 信幸	つつじヶ丘小地区生涯学習推進委員会委員長		岸本 孝行	帯広つつじヶ丘郵便局長
	大塚 雅彦	帯広聾学校校長	参 与	藤田 秀子	西帯広連町女性部長
	瘡師 輝幸	帯広盲学校校長		谷 義夫	元会計
	渡辺 教浩	帯広西小学校校長		佐々木力夫	元監査
	高山 亮司	帯広第二中学校校長		上井 健	前監査
	合浦 英則	帯広三条高等学校校長			

十 勝 毎 日 新 聞



◆西帯広地区「人にやさしいまちづくり」推進協議会(通称NR協、松崎拓郎会長)の監査・役員会
4日、帯広市内の共愛会館で開かれたII写真。

役員ら10人が出席した。今年度の事業・監査報告を承認。新年度は9月に帯広盲学校校長のミニ講演会などの行事を行うことを決めた。コロナ禍で減少していた町内会行事が今年は再開する見通しで、NR協も交流事業として協賛していくことを確認した。

NR協は、障害の有無などにかかわらず誰もが平等に暮らせる社会を目指す、「ノーバイセッション」の普及啓発が目的の団体。

2023年(令和5年)3月14日(火曜日)

十 勝 毎 日 新 聞



NR協が帯一中にボールペンを寄贈
毎年標語に応募
西帯広地区「人にやさしいまちづくり」推進協議会(略称NR協、松崎拓郎会長)が9日、帯広第一中学校

(藤崎禎人校長)にボールペン300本を寄贈した。同校3年生(73人)が毎年NR協が募集する「ノーバイセッション」標語に応募しており、今年度も優秀な18作品を看板にして、近隣の施設などに花の寄せ植えと共に届けている。生徒を代表し3年生の浦松崎会長(左)からボールペンを受け取った角田さん(左から2人目)、浦島さん(同3人目)、藤崎校長(右)

鼻塚果さんと角田流惟さんが、松崎会長と伊藤公康事務局長からボールペンを受け取った。将来、看護師を目指す浦島さんは、感謝の心を標語にし、思いやりの大切さを表現した。角田さんは、「一言の勇氣で「いじめ」などをなくしたい」との思いを作品に込めた。(馬淵智子通信員)

2023年(令和5年)3月16日(木曜日)